リコピット

ガス警報器（LPガス用）
取扱説明書

型式: APH-32SV 音声型 「高圧ガス保安協会」検定合格品

保証書付

● この警報器は、液化石油ガス（LPガス・プロパンガス）用ガス警報器です。

● このたびは、ガス警報器をお取り付けいただきましてありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

● この説明書には、保証書がついています。
お取り付け後も大切に保管してください。

注意事項

※ この警報器は都市ガスには、使用しないでください。
※ この警報器は浴室では使用できません。漏電、感電のおそれがあります。絶対に使用しないでください。
※ この警報器は、不完全燃焼および酸素欠乏による中毒防止用の警報器ではありません。不完全燃焼および酸素欠乏では、警報しません。

●販売店名（連絡先）

19.06

リコーエレメックス 株式会社
〒444-8586 愛知県岡崎市井田町3-69
0120-855-120（平日9時～17時）

もくじ

警報器をご使用になる皆様へ
1. 安全に正しくお使いいただくために …… p.1
2. 安全のために必ずお守りください。 …… p.2
A：ガスもれにより警報音が鳴ったときは、あわてず次の処置をしてください。 …… p.2～5
B：ご使用上の注意事項 …… p.6～7
C：殺虫剤などで警報音が鳴った場合 …… p.8
3. 警報器のお手入れ方法 …… p.8
4. 警報器の取り扱い方法 …… p.9
5. 警報器の点検方法 …… p.10
6. 交換期限 …… p.11
7. アフターサービスについて …… p.11

ご販売店様および警報器をご使用になる皆様へ
8. 各部の名称と働き …… p.12
9. この警報器の機能について …… p.13
10. 動作概要 …… p.14～15
A：出力切換スイッチ（S型設定時） …… p.14
B：出力切換スイッチ（a接点設定時） …… p.15
11. 取り付け位置 …… p.16～17
12. マイコンメータとの接続方法 …… p.18～19
A：出力切換スイッチの設定 …… p.18
B：警報器への信号線の接続 …… p.18
C：マイコンメータへの接続 …… p.19
13. 取り付け方法 …… p.20～21
A：木ネジによる取り付け …… p.20
B：粘着テープによる取り付け …… p.20
C：付属品以外の取付板への取り付け …… p.21
D：スイッチボックスへの埋め込み取り付け …… p.21
14. かんたんガス検機能による作動テスト …… p.22
15. 仕様 …… p.23

ご販売店様へのお願い
16. 保証書・警告表示への貴店名の記入 …… p.24
17. お客様へのご説明 …… p.24

保証書

警報器をご使用になる皆様へ

1. 安全に正しくお使いいただくために

この説明書は、弊社ガス警報器APH-32SVを正しくお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。
それぞれの絵表示は下記のようになっています。
お客様や他の人々への危害や財産への損害を防ぐために内容をよく理解し正しくお使いください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

	一般的な禁止		分解禁止
	火気禁止		必ず行う
	触れるな		電源プラグを抜く

2. 安全のために必ず守りください。

A：ガスもれにより警報音が鳴ったときは、あわてず 次の処置をしてください。

⚠危険 警報音が鳴っている間は、次のことは絶対しないでください。
火花などによる爆発の恐れがあります。

ガスもれのとき

1	警報音	「ピーピーピーピー、ガスがもれていませんか。」
	ランプ	点滅（約 0.3秒周期）

① まず、火を使用しているときは、火を消した後、ガス栓（元栓）を閉めてください。

② ドアや窓を開けて換気をしてください。空気が流れるようにドアと窓の2ヶ所以上を開けてください。

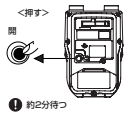
③ 室内のガスがなくなれば、警報音は自動的に鳴りやみます。
鳴りやんでからガスもれの箇所を点検してください。
注）ガスもれの原因として、点火ミス、立ち消え、器具栓が完全に閉まっていない場合および、ゴム管のひび割れ等が考えられますので、注意して点検してください。

次の 2,3,4 の警報音は、接続されたマイコンメータ、および接続した端子によっては、鳴らない場合があります。
（ランプも点滅しません。）

換気によりガスがなくなったとき

			状態	処置
2	警報音	「ピッ、ピッ、ガスもメータで止めました。」	マイコンメータのしゃ断弁でガスを止めました。	④～⑥ を行います。
	ランプ	点滅		

④ しゃ断弁が閉じているときは、ガスがもれていないはずと（ガスの臭いがなく、ガスもれ警報音がしていない。）
および屋内のすべてのガス器具の器具栓が閉止であることを確認して、マイコンメータのしゃ断弁を開けてください。



⑤ しゃ断弁を開けた後、約2分以上待つか、または、「ピッ、ピッ、ガスが使えます。」と鳴ってからガスを使用してください。
（すぐにガスを使用すると、再度しゃ断弁が閉じます。）

マイコンメータのしゃ断弁を開けたとき

			状態	処置
3	警報音	「ピッ、ピッ、安全を確認中です。しばらくお待ちください。」	ガスもれがないか安全確認を行なっています。	⑤～⑥ を行います。
	ランプ	点滅		

4	警報音	「ピッ、ピッ、ガスが使えます。」	安全を確認しました。	ガスをご使用いただけます。
	ランプ	点滅		

（参考）
ガスを長時間使用しているとき

		状態	処置
警報音	「ピッ、ピッ、ガスを長く使っていますんか。一度止めてください。」	マイコンメータのしゃ断弁が閉じる前の予告を行なっています。	お客様がガスの使用を一度止めます。警報音が鳴りやんでからガスをお使いください。
ランプ	点滅		

⑥ 次の場合は、販売店に連絡してください。
・警報音が鳴りやまないとき
・警報音が鳴りやんでもガスもれの箇所が見つからないとき
・ガスもれの原因が見つかってもお客様で処置できないとき
・ガスもれがないのにマイコンメータのしゃ断弁が閉じたとき
・マイコンメータのしゃ断弁を開けて2分間以上待ってもすぐに閉じてしまうとき

ガス警報器（LPガス用）

保　証　書

品名：リコピット　　型式：APH-32SV

このたびはガス警報器（LPガス用）をお求めいただき誠にありがとうございました。
本製品は、高圧ガス保安協会の検定に合格したガス警報器です。
従って、正常な使用状態で故障の心配はありませんが、保証期間中、万一異常を生じた場合は、速やかに販売店に連絡し、本書を提示してください。
次の要領で下記の者が、点検または交換いたします。
・保証期間　警報器本体に表示された交換期限内
・保証内容　取扱説明書に基づく正常な使用状態で、製造上の責任による故障の場合は、無償で交換いたします。
・保証適用除外　裏面に記載の※※事項の場合
・保守点検
警報器の異常などお申し出のあります時は、無償で次の保守点検をいたします。
（1）点検ガスまたは、点検具を使用しての作動テスト。
（2）設置場所の適否についてのチェック。

販売店　〒　TEL
（ご販売店様は必ず記入してください）

製造元　リコーエレメックス 株式会社
〒444-8586 愛知県岡崎市井田町3-69
0120-855-120（平日9時～17時）

見本

B：ご使用上の注意事項

⚠危険

① 電源コードは切断しないでください。感電や発火する恐れがあります。	禁止

⚠警告

① 電源プラグは専用コンセントに接続し、電源プラグを抜かないでください。ガスがもれていても警報しません。電源コードの上に重いものを置いたり、無理に引っぱったり、曲げたり、ねじったりしないでください。断線、火災の原因になります。	禁止
② 絶対に分解したり改造しないでください。故障の原因になります。また、落下衝撃等を与えるような取り扱い等しないでください。故障の原因になります。	分解禁止
③ 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。警報遅れの原因となり正しく作動しません。	禁止
④ 設置した位置を移動させないでください。警報が遅れたり、鳴らなかったりする原因になります。警報器の位置を変える必要が生じた場合は、販売店に依頼してください。	移動禁止

⚠注意

① この警報器は液化石油ガス（LPガス・プロパンガス）専用です。液化石油ガス以外使用しないでください。

② 必ず警告表示（「警報器が鳴ったら」ステカー）を見やすい場所に貼ってください。ガスもれ応急中連絡先がわからなくなります。警告表示に緊急時の連絡先の名称・電話番号が記入されているか確かめてください。記入されていない場合は、お求めの販売店に記入してもらってください。	必ず行う　見やすいところに
③ 警報器は必ず交換期限内に交換してください。交換期限を過ぎると、警報遅れや鳴らなかったりする原因となります。	必ず行う　交換期限を過ぎた　年
④ 警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）には、1490W以下の電気製品1台しか接続できません。1490Wを超える電気製品を接続すると、火災発生の恐れがあります。また、電源プラグは、年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を乾いた布やブラシで清掃してください。ほこりがたまると火災の原因になります。	他の電気製品　警報器のアドオンプラグ　1490W 以下
⑤ 警報音停止ボタンは指で押してください。工具などを使用すると破損する場合があります。	警報音停止ボタン
⑥ ホネなどをかけないでください。故障や事故の原因になります。	禁止

C：殺虫剤などで警報音が鳴った場合

⚠警告 ガスもれ以外でも次のような場合、警報音が鳴ることがあります。電源プラグは絶対に抜かないでください。ガスもれ発生時に、警報音が鳴らなくなります。

① 殺虫剤、化粧品などのスプレーを警報器の近くで使ったとき。
② シンナー、ペンキなど可燃性の溶剤や塗料を警報器の近くで使ったとき。
③ ミリン、しょう油、ワイン、酒のカン等の蒸気がかかったとき。
④ 濃厚なタバコの煙りがかかったとき。
⑤ 建築物の内装に化学薬品が多量に使われているとき。

3. 警報器のお手入れ方法

警報器の表面が汚れたりしてお手入れをされる場合は、以下のように行ってください。

①電源プラグをコンセントから抜いてください。
②水または石けん水に浸した布をよく絞ってから、汚れをふきとってください。ふき終わったら電源プラグをコンセントに差し込み、約1分後、5. 警報器の点検方法（p.10）にしたがって動作の確認をしてください。

⚠注意

①お手入れの前に必ず電源プラグを持って、コンセントから抜いてください。断線すると、発熱や火災の原因となります。	電源プラグを抜く　コンセント	
②布は、よく絞って、警報器内部に水が浸入しないようにしてください。漏電の恐れがあります。	必ず行う　よく絞る　水又はぜっけん水	
③ベンジン、シンナー等の化学薬品はご使用にならないでください。警報器本体の表面に傷がつきます。	禁止	

4. 警報器の取り扱い方法

① 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
ランプが1回もしくは、5回明るく点滅し、期限切れのお知らせ機能の設定状態を表示します。その後、ランプが赤く点灯します。電源プラグをコンセントに差し込んでから約1分間は、警報器が作動状態にふる準備時間です。この約1分間はガスがもれても警報音は鳴りません。
（停電復帰時も同様です。）

1回明るく点灯	期限切れお知らせ機能あり
5回明るく点灯	期限切れお知らせ機能なし

② 約1分後
常時ガスもれ検知可能な状態となります。
③ ガスもれを検知
ランプが点滅し、「ピーピーピーピー、ガスがもれていませんか。」と連続して警報音が鳴り続けます。さらに最初の警報から、約30秒～50秒以上、鳴り続けるとマイコンメーターに信号を送り、ガスをしゃ断させます。
しゃ断するとマイコンメータの表示窓に、「BC」、「ガス上」が表示されます。
殺虫剤スプレーで警報音が鳴った場合など、原因がわかって処理済みの場合は、警報音停止ボタンを1秒以上押すことで、警報音のみ約1分間停止させることが出来ますので、電源プラグを抜かないでください。
（1分後にガスがあると、再び警報音が鳴ります。）

※ガスを使用していない場合は、しゃ断するまでの時間が長くなります。
※コンセントから電源プラグが抜けている場合や、停電時はガスもれを検知しません。
※警報器本体は多少温かくなりますが、異常ではありません。
※日常、警報器が作動状態にあることを示すランプ（赤色）が点灯していることを確認してください。
※転居される場合、この警報器が転居先でも使えるかどうかを販売店にご確認ください。

5. 警報器の点検方法

次の方法で警報器の作動を点検することができます。

① ランプ（赤色）が点灯していることを確かめてください。ただし、電源プラグをコンセントに差し込んだとき、約1分間は、そのままお待ちください。
② 付属の点検ガスの先端を警報器の検知部（点検口）にあててください。
③ 点検ガスの容器（胴部）を連続して指で押して容器内のガスを吹き付け続けてください。
④ ランプが点滅して警報音が鳴り続けます。
⑤ 点検ガスの吹き付けをやめると、まもなくランプの点滅が点灯に変わり、警報音も鳴りやみます。

⚠注意

禁止	①付属の点検ガス以外は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
必ず行う	②小さな お子様のいるご家庭では、点検ガスは、お子様の手の届かないところに保管してください。目には入った場合は、すぐ水で目を洗い、医師の治療を受けてください。飲って、飲みこんだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
	③点検ガスがなくなりましたら、販売店でお買い求めください。

※点検ガスを吹き付けても、警報音が鳴らないときは、7. アフターサービスについて（P. 11）をお読みください。
※点検ガスは揮発しやすいので、ご使用後はふたをしっかりと閉めてください。
（点検ガス容器下部に青色半透明の固形物が少なくなると、警報音が鳴らない場合があります。）
※点検ガスを使用して、定期的に点検を行ってください。
※マイコンメータと連動点検を行う場合は、販売店にご相談ください。

6. 交換期限

この警報器の有効期限は、警報器本体に表示された製造年月より5年以内です。交換期限表示に記載された交換期限の年を目安にしてください。
警報器は必ず交換期限内に交換してください。

7. アフターサービスについて

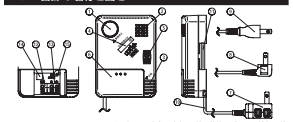
① 保証
製品および保守点検については、添付の保証書に基づき、警報器本体に表示された交換期限の期限内を保証いたします。
万一異常を生じた場合は、お求めの販売店に連絡し、保証書をご提示ください。
保証書の記載内容に基づき販売店で点検または交換いたします。
② 更新
交換期限を過ぎたものは、保証できません。
警報器は、安全機器です。必ず新しいものとお取り替えください。
③ 点検
交換期限内の警報器が正常に作動しない場合は、販売店に点検を依頼してください。次の事項は、容易に点検・処置できる内容です。点検依頼の前にぜひご確認ください。

状　態	原　因	処　置
ランプが点灯しない。	・電源プラグがはずれている。 ・停電している。 ・電源ブレーカが切れている。	・電源プラグをコンセントに差し込む。 ・電源ブレーカを入れる。
点検ガスで警報音が鳴らない。	・ガス検知部（点検口）を間違えている。 ・点検ガス容器（下部に青色半透明の固形物）が少ない。	・正しい位置で点検する。 ・新しい点検ガスを買い求める。
ガスもれの様子がないのに警報音がなった。	・近くでスプレー、殺虫剤、シンナーなどを使用した。 ・酒、ミリンなどの濃い蒸気がかかった。	・窓やドアを開け換気する。

④ この警報器についてお気付きの点、ご不明の点がありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。
● 保証書は大切に保管してください。

ご販売店様および警報器をご使用になる皆様へ

8. 各部の名称と働き



① ランプ及び警報停止ボタン……●電源が入ると赤色で点灯し、約1分後にガスもれ検知可能な状態となります。ガスを検知し、ガス濃度が警報設定値に達すると、ランプが点滅します。
●ガスもれ警報中に警報停止ボタンを1秒以上押すと、警報音が約1分間停止します。
●長時間に押すと、警報音とランプ（点滅）の動作確認ができます。

② 警報スピーカ……ガスを検知し、ガス濃度が警報設定値に達すると、「ピーピーピーピー、ガスがもれています。」と警報音が鳴ります。

③ ガス検知部（点検口）……ガスを検知します。

④ 交換期限表示……警報器を交換していただく年を表示しています。

⑤ 検定合格証……高圧ガス保安協会の検定に合格したことを証明しています。

⑥ 端子カバー……信号線を接続するときにこのカバーを開けます。

⑦ 電源プラグ……予備コンセント（アドオンプラグ）付です。最大1490Wまでの電気製品に使用できます。
AP1H-3ZSV(L)

⑧ 電源プラグ……L型プラグです。予備コンセントはありません。
AP1H-3ZSV(S)

⑨ 電源プラグ……ストレート型プラグです。予備コンセントはありません。
AP1H-3ZSV(SS)

⑩ 電源コード……警報器に電源AC100Vを導くコードです。

⑪ 取付板裏面溝……取付板を取り付けます。

⑫ FG端子……マイコンメータ等のFG端子と接続するときに使用します。

⑬ 外部出力端子……マイコンメータに接続するときに使用します。
（無電圧信号端子）

⑭ 信号線引き出し口……別売の取付板マルチアダプタ(大)を使用して警報器裏面へ信号線を通す場合は、この部分に穴をあけて信号線を通します。(p.22参照)

⑮ 出力切換スイッチ……接続するマイコンメータの種類と端子にあわせて設定を切り換えます。

9. この警報器の機能について

ガスもれ警報機能

警報器周囲のLPガスが規定濃度以上になるとランプが点滅し警報音が鳴ります。

期限切れお知らせ機能

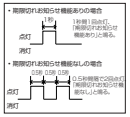
警報器の交換期限が過ぎるとランプが右下の図のように点滅します。
警報器が正常に作動しない恐れがありますので、お求めの販売店に連絡し、警報器を交換してください。
※ 交換期限を過ぎても、すぐに期限切れお知らせ表示はしません。又、電源が投入されていない場合は機能が働いていません。本体に記載された交換期限を過ぎている場合は、新しい警報器に交換してください。

<期限切れお知らせ表示>

<期限切れお知らせ機能解除/再設定方法>

① 警報音停止ボタンを押し、ながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。
受け音が「ピッ」と鳴ります。
② そのまま3秒間押し続けるとランプが赤く点滅し、お知らせ音が鳴り、期限切れお知らせ機能がリロードします。
※ 出荷時、期限切れお知らせ機能は「あり」になっています。
※ 期限切れお知らせ機能の切換は、何度でも可能です。(リロードなしの設定)
※ お客様自身で期限切れお知らせ機能を解除された場合はお求めの販売店に期限切れお知らせ機能を解除した旨をお伝えください。

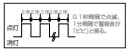
<機能切替時のランプ表示お知らせ音>



故障お知らせ機能

ガスを正常に検知できなくなると、ランプが点滅、警報音が鳴ります。
故障警報中に警報音停止ボタンを押すと、警報音を約36時間停止することができます。

<故障時のランプ表示・警報音>



10. 動作概要

A：出力切換スイッチ(S型設定時)
マイコンメータ タイホウ端子接続

状態			警報音	ランプ	外部出力
警報器	ガスの使用	しゃ断弁			
停電およびプラグ抜け	――	開、閉	なし	●	OFF
通常時	正常使用時	開	なし	☼	OFF
	消し忘れ(長時間使用時)	開	ピッ、ピッ、ガスを長く使っていませんか。一度止めてください。	☼ 短い消灯1回	OFF
	しゃ断中	閉	ピッ、ピッ、ガスをメータで止めました。	☼ 短い消灯2回	OFF
	しゃ断弁「開」操作後	開	ピッ、ピッ、安全を確認中です。しばらくお待ちください。	☼ 短い消灯3回	OFF
	使用許可時	開	ピッ、ピッ、ガスが使えます。	☼ 短い消灯1回	OFF
警報時	ガスもれ時	開、閉	ピーピーピーピー、ガスがもれています。	◐	ランプ点滅から約30秒経過後、ON.OFF約1秒周期(警報停止ボタン中ON.OFFもおなじ動作です。)
	警告音停止ボタンON時【1秒以上】	開、閉	約1分間停止	◐	

記号
● 消灯する　☼ 点灯する　◐ 点滅する

B：出力切換スイッチ(a接点設定時)
マイコンメータ 外部1(a接点)端子接続

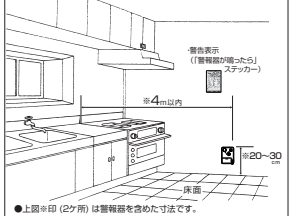
状態			警報音	ランプ	外部出力
警報器	ガスの使用	しゃ断弁			
停電およびプラグ抜け	――	開、閉	なし	●	OFF
通常時	正常使用時	開	なし	☼	OFF
警報時	ガスもれ時	開、閉	ピーピーピーピー、ガスがもれています。	◐	ランプ点滅から約42秒経過後、ON(警報器停止ボタン中ON.OFFもおなじ動作です。)
	警告音停止ボタンON時【1秒以上】	開、閉	約1分間停止	◐	

記号
● 消灯する　☼ 点灯する　◐ 点滅する

11. 取り付け位置

⚠ 注 意

① 液化石油ガス（LPガス・プロパンガス）は空気より重く、下の方にたまりますので、警報器上部が床面から2cm以上、30cm以下の高さで、ガス器具やガス栓（元栓）の最も遠いところより水平距離で 4m以内 の場所にお取り付けください。取り付け位置が正しくないと、警報の遅れにより正しく機能しない場合があります。



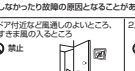
●上図※印（2ケ所）は警報器を含めた寸法です。

② 床置き、水平向け（上向き）に設置しないでください。
水などが入り、故障や事故の原因になります。
⃠ 禁止

⚠ 注 意

③ 次のようなところには取り付けないでください。警報が遅れたり、正しく機能しなかったり故障の原因となることがあります。

1. ドア付近など風通しのよいところ、すきま風の入るところ
⃠ 禁止



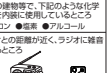
2. 浴室内、水や煮こぼれのかかる場所、および、水滴のつくところ
⃠ 禁止

3. カーテンウォール等で仕切られるところ
⃠ 禁止

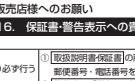
4. 振動、衝撃のはげしいところ
⃠ 禁止

5. 使用時しか電源を入れないところ（ビルや湯沸室で、夜間電源を切るところ）
⃠ 禁止

6. 温度が−10℃以下、または、40℃以上になるところ
⃠ 禁止
40℃
-10℃

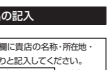


7. 台所設備等でさえぎられる場所
⃠ 禁止



8. 新築の建物等で、下記のような化学薬品を内装に使用しているところ
●シリコン ●塩素 ●アルコール

9. ラジオとの距離が近く、ラジオに雑音が入るところ



12. マイコンメータとの接続方法

⚠ 注 意　出力切換スイッチは次のように正しく設定してください。
間違えますと、マイコンメータと連動しません。

警報器本体前面下部の端子カバーを指で押ながら下方向にずらして、はずしてください。

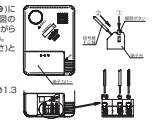
A：出力切換スイッチの設定

警報器出力端子の右上部にある出力切換スイッチを、接続するマイコンメータの機種と接続端子にあわせて設定します。

スイッチ位置	状態	適合マイコンメータ	接続端子
S 型		マイコンメータ	ケイホウ
a 接点		マイコンメータ	外部1(a接点)

B：警報器への信号線の接続

端子の近くに表示されたFG.Θ.Θ.⊕）にしたがってFG線および信号線を下図のように端子台の解除ボタンを押しながら端子台部品の穴に挿入してください。
なお、挿入する長さ（被覆のむき長さ）としては9mmくらいが適当です。
使用可能電線
より線 0.5mm² ～ 1.5mm²
(AWG20～16) 単線 φ0.8～φ1.3



出力切換スイッチ（S型設定時）

警報器		配線色	メータ側端子
出力	⊕	赤色	ケイホウ（+）極
端子	⊖	白色	ケイホウ（−）極
FG端子		青色	FG

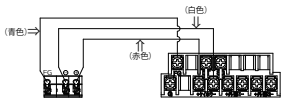
出力切換スイッチ（a接点設定時）

警報器		配線色	メータ側端子
出力	⊕	赤色	外部1（+）極
端子	⊖	白色	外部1（−）極
FG端子		青色	FG

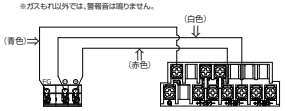
※配線色はガス警報器工業会の推奨色です。

C: マイコンメータへの接続例
マイコンメータに接続する信号線（キャップタイヤコード）の線路抵抗は、10Ω以下のものをお使いください。

① 出力切換スイッチ(S型):ケイホウ端子接続



② 出力切換スイッチ(a接点):外部1(a接点)端子接続
※ガスもれ以外では、警報音は鳴りません。



必ず行う　雷による、誤作動、故障を防ぐために、FG線の接続を必ず行ってください。

13. 取り付け方法

まず、11.取り付け位置(p.16～17)にしたがって警報器の取付け位置を決めてから、以下を行ってください。

A:木ネジによる取り付け

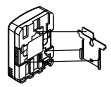
① 壁面の材質、強度および AC100Vのコンセント位置を確認してください。
② 取付板を木ネジで壁面に固定します。
③ 取付板の両翼に警報器側面の取付板装着溝を合わせ、正面からカチッと音がして固定されるまで押し込んでください。
④ 電源コードを付属のコード止めで固定してください。

B:粘着テープによる取り付け

① 壁面の材質、強度および AC100Vのコンセント位置を確認してください。
② 取り付け位置のゴミや水分、油分等をふきとってください。
③ 粘着テープの片面の上紙をはがして取付板に貼ってください。
④ 取付板に貼った粘着テープのもう片面の上紙をはがして壁面に貼ってください。このとき、壁面と取付板が密着するように壁面に充分押し当ててください。
⑤ 取付板の両翼に警報器側面の取付板装着溝を合わせ、正面からカチッと音がして固定されるまで押し込んでください。
⑥ 電源コードを付属のコード止めで固定してください。

C:付属品以外の取付板への取り付け

① 壁面に固定されている従来の取付板に警報器の溝を引っかけて取り付けてください。(他の取付板において、取り付かない場合があります。その場合は、付属の取付板に交換するか別売の取付板マルチアダプタをご使用ください。)



D:スイッチボックスへの埋め込み取り付け

(JIS C8340)準拠の1個用スイッチボックス、アウトレットボックス、コンクリートボックスをご使用ください。
なお、取り付の際には、取付板マルチアダプタ(大)をご使用ください。

別売の取付板マルチアダプタ(大)をご使用になる場合は、

①警報器裏面の信号線引き出し口部分に穴をあけ、信号線を通せるようにします。
②信号線を取付板マルチアダプタ(大)と警報器裏面の信号線引き出し口に通し、端子に接続します。
※ 信号線がキャブタイヤコードの場合、信号線引き出し口にはφ6mmの信号線まで通すことができますが、φ6mm以上の線をご使用になる場合は、外皮を約10cm程度取り除いてからご使用ください。

14. かんたん点検機能による作動テスト

電源プラグをコンセントに差し込んでから、約2分以内はかんたん点検機能を使用するとマイコンメータに警報信号をすぐに送るため、作動テストが早くできます。

①電源ランプをコンセントに差し込みます。
ランプが点滅後、赤く点灯してから約1分間は警報器が作動状態に入る準備時間です。この約1分間はガスがかかっても警報音は鳴りません。
（停電復帰時も同様です。）
②約1分後(作動状態)
常時ガスもれ検知可能な状態となります。
③手近な燃焼器具を点火してください。
④点検ガスのふたを開け、先端(口元)を警報器の検知部(点検口)に当ててから、点検ガスの容器を指で押して ガスを吹き付け(押し出し)続けてください。
⑤警報音が「ピーピーピーピー、ガスがもれていませんか。」と鳴ったら、警報音停止ボタンを1秒以上押します。警報音が停止します。
⑥ボタンを一度離してから、再度1秒以上押します。
マイコンメータに警報信号を送ります。
⑦点検ガスの吹き付けをやめると「ピッ、ピッ、ガスをメータで止めました。」と警報するようになります。(外部1(a接点)端子接続の場合は鳴りません。)これで警報器とマイコンメータとの連動しゃ断確認ができました。
⑧点火した燃焼器具の器具栓を閉めてください。
⑨マイコンメータのしゃ断弁「開」操作説明書等により、しゃ断弁を開けてください。
※ ガスをしゃ断した後も配管内に残っているガスにより、燃焼器具の火は、すぐに消えないことがあります。

15. 仕様

対象ガス …… 液化石油ガス(LPガス・プロパンガス)
警報ガス濃度 …… 爆発下限界濃度の1/100～1/4
検知方式 …… 接触燃焼方式（熱線式）
警報方式 …… ランプ点滅（自動復帰式）
音声合成警報音
警報音停止ボタン付き(約1分間の警報音停止)
電源 …… AC100V 50/60Hz
消費電力 …… 通常時約1.2W、警報時約1.4W
外部出力 ……

出力切換スイッチ	S型設定時	a接点設定時
無電圧出力	フォトカプラ出力	フォトカプラ出力
出力遅延時間	約30秒	約42秒
通常時	OFF	OFF
警報時	ON-OFF(5秒/5秒)	ON
電源OFF時	OFF	OFF

使用温度範囲 …… −10℃～+40℃
寸法・重量 …… 幅70×高さ95×奥行き28.5mm (突起部を除く)
約210g(Lタイプ)、約120g(Sタイプ・SSタイプ)
電源コード …… 長さ約2.5m予備コンセント付 (Lタイプ)
長さ約30cm (Sタイプ)
長さ約15cm (SSタイプ)

付属品
・取付板一1枚　・取付木ネジ一2本　・粘着テープ一1枚　・点検ガスー1コ
・取扱説明書一1冊（保証書含む）　・コード止め一1コ　・警告表示一1枚（「警報器が鳴ったら」ステッカー）

ご販売店様へのお願い

16. 保証書・警告表示への貴店名の記入

必ず行う
① 取扱説明書・保証書の所定の欄に貴店の名称・所在地・郵便番号・電話番号をはっきりと記入してください。
② 警告表示（「警報器が鳴ったら」ステッカー）の所定の欄に貴店の名称と電話番号をはっきりと記入してください。

※警告表示（「警報器が鳴ったら」ステッカー）の見本は 15. 仕様（p.23）を参照してください。

17. お客様へのご説明

お客様へ次の事項を説明のうえ、ご理解を得てください。

必ず行う
① この取扱説明書の記載内容をよくお読みのうえ、正しくご使用していただくこと並びに使用方法をご説明の上、ご理解いただくこと。
この取扱説明書には、保証書(保証期間は、交換期限表示に記載された期限内)が付いていますので、お客様に大切に保管していただくこと。
② 添付の「警告表示（「警報器が鳴ったら」ステッカー）」をよくご説明のうえ、見やすい場所に忘れずに貼っていただくこと。

※保証の適用除外

本製品は保証期間内でも次のような場合、保証の適用外となります。
(1) 分解、改造、落下、その他ご使用上の誤りによる故障または損傷。
(2) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、異常電圧、異常温度などによる故障または損傷の場合。
(3) 取り付け位置が屋外、高湿多湿等、著しく不適切な場所および浴室に取り付けた場合。
(4) LPガス以外のガス、水や煮こぼれ、動植物等による故障または損傷。
(5) その他製造業者の責任によらない汚損。
(6) 本保証書の所定事項（ご住所、お名前、お買上日）を書き換えられた場合。
(7) 本保証書のご提示がない場合。

※ご注意事項

(1) 警報器の作動確認は、付属の検ガスを使用してください。
(2) 本保証書は、再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
(3) 交換期限を過ぎた製品は保証いたしません。警報器は安全を守るための製品ですから、必ず新しいものとお取り替えください。

ご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料点検・交換対応のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
この保証書は、お客様の民法または法令上の権利を制限するものではありません。また、警報器について、ご不明な場合は、お求めの販売店にお問い合わせください。

お客様	お名前
	〒□□□−□□□□
	ご住所
	お電話　（　　）　−

本保証書は日本国内のみ有効です。
※This warranty is valid only in Japan.

見本